

会長挨拶 会長 鈴木孝純君

今年度(2025～2026)、鶴岡西ロータリークラブ会長を仰せつかりました鈴木孝純と申します。私が2011年に当クラブへ入会してから14年経過しましたが、在籍年数の割にはロータリーについて浅学そして非才の身であります。皆様方一人ひとりのご協力を得て、1年間頑張って務め上げていきたいと思っています。

さて、鶴岡西ロータリークラブは今年度で60周年を迎えます。人でいえば還暦にあたり、干支が60年で一巡して生まれた干支に戻ることから、人生の節目、新たなスタートとして捉えられています。そこで今年度は気持ちを新たに原点に立ち返り、ロータリー活動の良さ、深さを再発見する年にしたいと思い、次のスローガンを掲げました。

「Rediscover Rotary (ロータリー、再発見)」

さらに、アレツォ RI 会長メッセージにある「会員増強」、そして小松ガバナー地区基本方針の中の「奉仕」についても、力強く推し進めてまいりたいと思います。

「会員増強」は、我がクラブでも毎年のように強調そして実行されてきましたが、今年度も最重要事項として継続したいと思います。会員数というのは、自然減はあっても、自然増というのは絶対あり得ず、会員増強はロータリークラブ存続のためには不可欠です。そして、数は力なりです。数が多いということは、それだけ素晴らしい仲間とともに活動が出来ますし、ロータリーの活動を強くすることは、ロータリアンとしての願いであり、義務でもあります。

「奉仕」について、以前、私が大変お世話になった1990～1991年(現2590)地区ガバナーの鶴川昇氏が当時、次のように語っておられたことが印象に残っています。

『孔子は弟子たちに「仁」を説きましたが、「仁」とはこういうものだという定義づけはしていません。孔子という大きな鐘を撞いて、鳴った鐘の音を弟子たちはそれぞれ、「仁」とは、これなんだと知り、理解を深めました。孔子は弟子たちの性格、行動から考えて、あなたにとっての「仁」とは、こうなのだとおっしゃっているのです。ロータリーという大きな鐘を、体験というもので鳴らして聞こえた「奉仕」のその音は、どれも真実であり、しかも、すべてが同じではないところに「奉仕」の幅の広さ、奥の深さがあるのです』と。

「情けは人のためならず」。人に親切にすると、その相手のためになるだけでなく、やがては良い報いとなって自分にも戻ってくるという意味です。ロータリーとは、自分が人としてやらなくてはならないことをする場であり、自分を育て、成長させてくれる場と私は理解しています。

未熟ながらロータリークラブ発展のために邁進してまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



新旧交代式 前会長佐藤正晴君 新会長鈴木孝純君



幹事報告 小野寺佳克君

- 青少年交換学生募集のお知らせ
- 台北国際大会のお知らせ
- フランチェスコ・アレツォ氏が2025-26年度国際ロータリー会長に選出

- 米山奨学・米山学友セミナー開催の案内
- インターアクト連絡協議会 7/6：チェリーパークホテル寒河江
- 母子の健康月間リソースのご案内
- 大阪・関西万博テーマウイーク「平和構築と人権擁護」
- 鶴岡ローターアクトクラブ 2025-2026年度総会のご案内

早坂剛君 鈴木孝純会長、小野寺幹事 西 RC の盛会を祈ります

鈴木孝純会長 一年間よろしくお願い致します。西川がバナー補佐、大変なお役目と思いますが頑張ってください。

村田久志君 佐藤前会長と辻前幹事 1年間お疲れ様でした。鈴木孝純会長、小野寺幹事の船出を祝してスマイル

小野寺佳克君 誕生祝いにあがり屋のお食事券を採用いただきありがとうございます。ご利用お待ちしております。

佐藤正晴君 一年間ありがとうございました。今年は行動計画推進リーダーとして支えていきたいと思っています。

辻博智君 一年間ありがとうございました正勝会長のもと、無事幹事長を完走できました。

阿部悦子君 鈴木孝純会長、小野寺幹事一年間体に気をつけて頑張ってください。

西川富美子君 クラブ協議会で鈴木会長スローガンの元、素晴らしい計画を目標達成のため頑張ってください。

